

令和3年5月に市立の全小・中学校において全国学力・学習状況調査を実施した。調査の概況は以下のとおりである。

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立の全小学校・関係特別支援学校 第6学年(131校)
市立の全中学校・関係特別支援学校 第3学年(63校)
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査 小学校 … 国語・算数 中学校 … 国語・数学
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査集計者数 小学校児童数 7,407人 中学校生徒数 6,764人

3 調査日 令和3年5月27日(木)

主な結果

令和3年度	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率
本市平均	8.8 / 14 問	63%	11.0 / 16 問	69%	8.8 / 14 問	63%	8.8 / 16 問	55%
全国平均	9.1 / 14 問	65%	11.2 / 16 問	70%	9.0 / 14 問	65%	9.1 / 16 問	57%

※ 結果公表にあたっては、文部科学省の方針に沿って細かい桁における微小な差異は学力面で実質的な違いを示すものではないという考えから、平成28年度より整数値で公表するようにした。

【結果1】 全国平均を上回る学校数が中学校で増加している。

中学校 平成31年度 13校 → 令和3年度 20校

※ 国語、数学の平均正答率の合計による比較

【結果2】 小学校算数、中学校国語、数学の正答率は、全国平均に近づいている。

小学校 算数 平成31年度 96% → 令和3年度 98%

中学校 国語 平成31年度 95% → 令和3年度 97%

数学 平成31年度 93% → 令和3年度 96%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果3】 小学校国語において、「書くこと」領域で、全国平均を上回った。

小学校 国語 「書くこと」 平成31年度 96% → 令和3年度 106%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果4】 本市で課題となっていた記述式の問題の正答率において、 全国平均に対する割合の向上がみられる。

小学校 国語 平成31年度 100% → 令和3年度 101%

算数 平成31年度 96% → 令和3年度 97%

中学校 国語 平成31年度 97% → 令和3年度 100%

数学 平成31年度 90% → 令和3年度 94%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果5】 小学校国語の平均正答率は、平成31年度に全国平均を 上回っていたが、今年度は下回った。

平成31年度 102% → 令和3年度 97%

※ 全国平均正答率を100%として比較

学習状況調査結果

児童生徒質問紙から質問事項を抽出し、回答状況を数値化しています。

児童・生徒質問紙【前回比・全国比ともに改善がみられたもの】

質問に対して肯定的な回答をした本市児童生徒の割合(%)		小学校		中学校	
カテゴリ	質問事項 []は中学校生徒質問紙	H31年度 (全国比)	R3年度 (全国比)	H31年度 (全国比)	R3年度 (全国比)
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.3 (-0.8)	96.9 (+0.1)	95.7 (+0.6)	96.7 (+0.8)
学習習慣 学習環境等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含みます。)	69.7 (-1.8)	74.7 (+0.7)	52.0 (+1.6)	65.5 (+2.0)
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)※1時間以上	17.2 (-1.1)	22.6 (+4.4)	11.7 (-0.7)	16.8 (+2.7)
ICTを活用した学習状況	5年生までに[1, 2年生のときに]受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 ※週1回以上	32.4 (+1.8)	55.6 (+15.5)	31.2 (+0.6)	46.0 (+12.6)
学習に対する 興味・関心や 授業の理解度等	国語の勉強は大切だと思いますか。	92.0 (-1.0)	93.3 (+0.1)	92.3 (+1.3)	93.3 (+1.7)
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	90.7 (-0.5)	92.4 (+0.6)	89.0 (+1.0)	90.8 (+2.1)
	算数[数学]の勉強は大切だと思いますか。	93.1 (-0.6)	94.1 (+0.3)	85.6 (+1.4)	85.7 (+1.6)

児童・生徒質問紙【今年度からの新たな質問のうち、全国平均を上回ったもの】

質問に対して肯定的な回答をした本市児童生徒の割合(%)		小学校	中学校
カテゴリ	質問事項 []は中学校生徒質問紙	R3年度 (全国比)	
ICTを活用した 学習状況	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。 ※週1回以上	40.2 (+1.2)	38.9 (+4.1)
	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。 ※1時間以上	20.7 (+0.8)	20.3 (+0.8)
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。	69.5 (+2.3)	62.7 (+3.2)
学習に対する 興味・関心や 授業の理解度等	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか。	83.1 (+0.9)	83.9 (+2.1)
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。	66.8 (+3.0)	62.4 (+1.1)
	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように[自分の考えが伝わるように根拠を明確にして]書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。	74.6 (+3.0)	76.4 (+1.8)
	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり[内容を解釈して]、自分の考えを広げたりしていますか。	77.8 (+3.5)	78.5 (+1.5)

○「ICT機器を活用した学習状況」が全国平均を上回っている。使用頻度において、前回比で約15ポイント以上改善し、全国比で10ポイント以上上回っている。

○国語・算数(数学)についての学ぶ意義や必要感に関して、前回比、全国比ともに上回っている。特に、国語については、学ぶ過程や学び方についてのポイントが全国より高い。

○家庭で計画を立てて勉強したり、1日1時間以上読書をしたりする児童・生徒の割合が前回比で5ポイント以上改善され、小中学校ともに全国平均も上回った。